



# 今月の大植びと

## 菊池 晃総 さん

(38歳・理容師、中須賀大神楽)

郷土芸能「中須賀大神楽」保存会の事務局次長を務める菊池さん。本業は理容師ながら、月に一度ラーメン屋さんに変身。多才ぶりを見せます。

次の世代に受け継ぐための環境づくり

郷土芸能団体の中では、どんな役割をされていますか？

菊池さん(以下菊)―主に連絡業務や、対外的な調整、会計などです。中堅の世代になってきて、ただ踊るんじゃない、次の世代に受け継ぐ環境づくりの世話役だと思ってやっています。

大変な事などはありますか？

菊―今はライングループな



町内のレストランで、月に1度だけラーメンを出す人気の「鮭節ラーメン」

郷土芸能や消防団、はたまたラーメン屋さんなど、本業以外にもたくさんの事をされている菊池さんですが、この町に思うこと、目指すものは何でしょうか？

菊―正直、大層な考えを持ってやっています。

それぞれ好きでやっていることが、つながっていい

郷土芸能や消防団、はたまたラーメン屋さんなど、本業以外にもたくさんの事をされている菊池さんですが、この町に思うこと、目指すものは何でしょうか？

どで連絡できるので、ずいぶん楽になりました。他に気になるのは、どこの団体でも同じですけど、子供の参加、特に小学生がだいぶ少なくなりまして。中学に上がると部活などで神楽にも出られなくなってしまうので、できれば小さいうちにどんどんやってほしいです。

いるわけじゃないです。でも、それぞれ自分が好きでやっていることがつながっていい、良い町になるんじゃないかと思えます。だから自分は、フットワークを軽く、付き合いを大事に、いつも思っています。固定収入が無いので、お客さんが来てくれないと、収入が来なくて困ります。(笑)。でもお客さんが来たらいいですね。それに、お客さんとも長い時間話さなきゃならないし、難しい仕事だよ。

菊―新しい情報や技術も仕入れなきゃいけないので、同業者の勉強会などに行つて知識やヒントを得ています。

鈴―うちの業種もそこは一緒だね。いろいろ勉強していかないと。付き合いも増えて大変だけど、タッグを組んで何かしませんか？

鈴―キッチンカープロジェクトでメニュー開発をやつてほしいです。B級グルメのような、目玉になるものをつくってほしい。

菊―鮭の中骨や鮭節を使ったラーメンをキッチンカーでも出した事があります。うまくいっているものができたらいいですね。

## 大植びと クロストーク Cross talk

9月号 鈴木 藤洋 さん  
10月号 菊池 晃総 さん

前号と今号の大植びとが対談するコーナーです。様々な分野で活躍する大植びとの皆さんが、誌面の上で出会います。「たし算」ではなく、「かけ算」の絆が、また新たな大植を創っていきます。

